



# IKEDA MASUO

池田満寿夫版画展 2006年1月2日[月]—3月31日[金]

- 開館時間 / 午前9時30分—午後5時30分 (入館は午後5時まで)
  - 休館日 / 会期中無休
  - 入館料 / 一般1,000円 (4枚セット券3,000円)、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料
- 2006年1月15日より2月14日までの間、一部展示替えがございます。



paramitamuseum

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6

TEL. 0593-91-1080 FAX. 0593-91-1077

<http://www.paramitamuseum.com> E-mail [office@paramitamuseum.com](mailto:office@paramitamuseum.com)

# IKEDA MASUO

池田満寿夫は1934(昭和9)年、満州に生まれましたが、小学校を卒業と同時に終戦を迎え、両親の郷里長野県に引き上げました。その後大学受験のため上京し、受験には失敗しますが、苦心の末に版画家としての人生を歩み始めました。そして23歳で東京国際版画ビエンナーレ入選、26歳で同展文部大臣賞受賞、翌年パリ・ビエンナーレ展優秀賞受賞など国際的にも版画家として活躍しました。また、40代には小説をも執筆し「エーゲ海に捧ぐ」で芥川賞を受賞し、監督として映画を製作するなど、その才能の多彩ぶりは広く知られています。

また50代には、陶芸を中心とした立体作品の制作にも取り組み、その表現の巾をいっそう広げていきましたが、そのさなか63歳で急逝してしまっただけが、惜しまれます。

パラミタミュージアムの名前の由来ともなっている常設展示の陶彫「般若心経シリーズ」は池田満寿夫の晩年の傑作ですが、来館者の方々からは池田満寿夫の版画作品も合わせて鑑賞したいというご要望が多数寄せられています。

これまで当館では建設直後の湿気の影響を避けるため、あえて版画を展示することをさけてきましたが、開館3年目を迎え、この度収蔵作品より200点を超える池田満寿夫の版画コレクションより秀作を選び、満を持して展示することとなりました。コレクションは20代から全盛期まで池田満寿夫の版画作品が網羅され、色彩感あふれる多色刷り版画の世界をお楽しみいただけます。

常設展示の池田満寿夫の陶彫と合わせて、ご鑑賞ください。



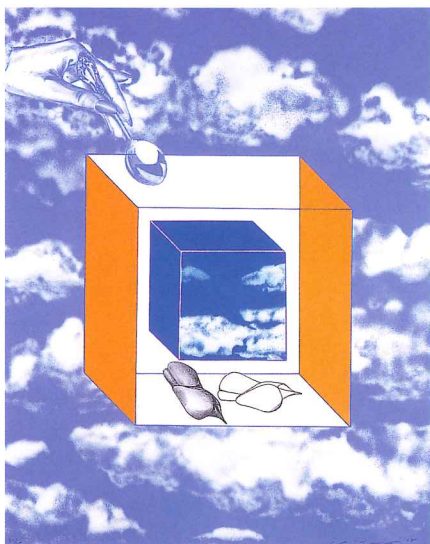
アフリカの女 1956年



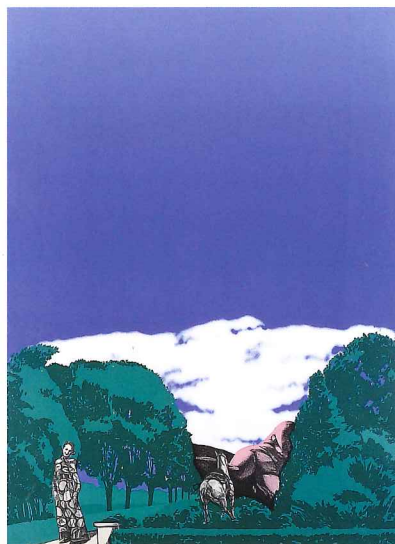
庭 1957年



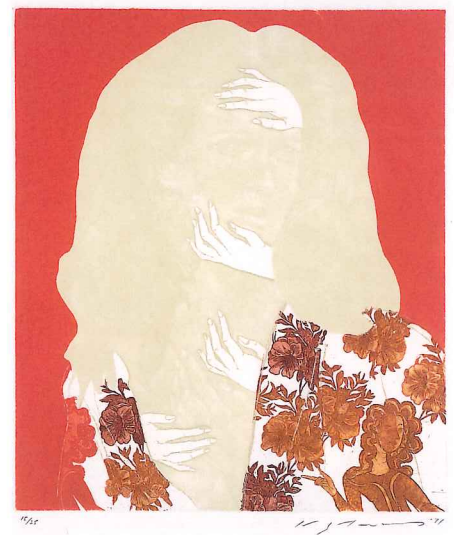
ムーンフェイス 1961年



「マグリットの空」マグリットの空 1968年



「ロケーション・アンド・シーン」マグリットの庭 1970年



五番街(赤) 1971年

【自動車】東名阪「四日市IC」より国道477号線(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。  
無料駐車場(普通車100台、大型バス駐車可)

【電車】近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m、477号線沿い北側。  
全館バリアフリー対応、常備車椅子4台



**paramitamuseum**

T510-1245  
三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6  
TEL. 0593-91-1088 FAX. 0593-91-1077